

2024年10月28日(月) @おおぞら高校西宮キャンパス  
神戸新聞社記者派遣事業 参加者の感想(参加者数:9名)

新聞などあまり読んだことはなかったけれど、スマホじゃ見られない地元のニュースなどが書いてあるのはあまり知らなかった。またほかの新聞会社と戦いながら、見出しなどを考えたりして、文章力がずば抜けているんだなと思いました。

阪神淡路大震災のときも、災害状況をまわりの人々にいち早く伝えようとしていて、自分の身も危ない中がんばっている姿を見るとすごいなと思いました。

ディエゴ・アルマンド・マラドーナが死去したことを10分で記事にしたことにはとても驚きました。

新聞記者の人が来た!いろいろな情報をまとめている新聞は改めてすごいとおもいました。話もすごくおもしろかったです。

偏向報道が多い世の中で、いかに正しい情報を見極めるかが重要なのだと思った。

「情報」の大切さ、情報を伝えることの大切さをとても学べた時間でした。それと同時に新聞の大切さも学べました。すごく学びの多い時間でした。

新聞についてよく知れたと思います。マザーテレサの話や地震の話はとても興味深かったです。

新聞記者のことについて何も知りませんでした。有名な人に会うことができたり、取材した警察官と仲良くできたり、とても楽しそうだなと感じました。

こういった珍しい話を聞く体験はなかなかないので興味深かった。個人的には締め切り直前にビッグニュースが飛び込んでくるのが大変だと感じた。

コンビニなどで何気なく見る新聞には、こんなにも多くの人が携わっていて、たくさんの工夫がされていると知ってとても驚きました。「記者」というお仕事はまったく知らなかったけれど、今回のお話で知識としてもつことができたので良かったです。